

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
(仮称)上八丁堀8番マンション

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境			2.6	0.15	2.6	1.00		2.6
1.1 騒音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル			3.0	1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策			-	-	-	-		
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			2.4	0.35	3.3	1.00		3.0
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.7	0.50		
1 室温設定			3.0	0.63	3.0	0.63		
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-		
3 外皮性能		住宅性能評価において、省エネルギー等級4を取得します。	3.0	0.38	5.0	0.38		
4 ゾーン別制御性			-	-	-	-		
5 温度・湿度制御			-	-	-	-		
6 個別制御			-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-		
8 監視システム			-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			1.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			2.7	0.25	3.0	1.00		2.8
3.1 昼光利用			3.0	0.30	3.0	0.35		
1 昼光率			3.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口			-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.35		
1 照明器具のグレア			-	-	-	-		
2 昼光制御			3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度			1.0	0.15	-	-		
1 照度			1.0	1.00	-	-		
2 照度均斉度			-	-	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.29		
4 空気質環境			3.6	0.25	3.6	1.00		3.6
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		化学汚染物質対策として、対象となる建築材料は全てF☆☆☆☆を採用します。	4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策			-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等			-	-	-	-		
4 レジオネラ対策			-	-	-	-		
4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能			-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
4 給気計画			-	-	-	-		
4.3 運用管理			-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2 喫煙の制御			-	-	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		3.2
1 機能性			3.0	0.40	3.4	1.00		3.2
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.60	4.0	0.60		
1 広さ・収納性			-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		各住戸に100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備します。	-	-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			3.0	0.40	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		住宅の天井高を2500mmとします。	-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-		
3 内装計画			3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理			-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.2	0.31	-	-		3.2
2.1 耐震・免震			3.4	0.48	-	-		
1 耐震性			3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		2階上部に免震層を設けた、中間階免震を採用しています。	5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.1	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		構造躯体において劣化対策等級3を確保します。	5.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	揺れを配慮した支持方法、クリアランス、配管の余長を取っています。	4.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			2.8	0.29	3.6	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			-	-	4.2	0.50	-
1	階高のゆとり	基準階は1フロア3260mmを確保しています。	-	-	5.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周囲になじむアースカラーを基調とした外装計画としています。また道路境界線より大きくセットバックし、手前に量感のある植栽を配し、圧迫感を低減します。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	北側道路側には歩道がないため、歩廊状空地と街路樹を整備し、地域のアメニティ向上に貢献します。	4.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー等級4を確保します。	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-	2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		省エネルギー計算の結果に基づいています。	4.1	0.40	-	-	4.1
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマと節水型便器(6L)を使用しています。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用	地下の既存躯体を山留壁と基礎底盤として利用しています。	4.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	パーティクルボード、再生砕石	4.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体に仕上げ材を調節施工せず、手前に立てた軽鉄ボードに仕上げを行います。	4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.5	0.22	-	-	2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.68	-	-	-
1	消火剤		1.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		節水型トイレを採用しています。	4.9	0.33	-	-	4.9
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.3	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3	交通負荷抑制	建物内に駐輪場を確保しています。車寄せスペースをロータリー状に配し、道路での渋滞に配慮します。北側に、管理・荷捌き車両用の駐車スペースを設けています。	5.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	建物内にゴミ集積場所を確保しています。また、各戸にディスプレイを設置しています。	5.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストに沿って検討・採用しています。	5.0	0.70	-	-	-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-